

講演 「患者から始まったわが国のがん対策」

講 師

かき ぞえ ただ お
垣 添 忠 生 氏



ご略歴

1967 年東京大学医学部医学科卒業。同年東京大学医学部附属病院で研修し、都立豊島病院、医療法人藤間病院外科に勤務後、1972 年東京大学医学部泌尿器科文部教官助手。この頃から膀胱がんの基礎研究に携わり、大学の勤務終了後、夜、国立がんセンター研究所に通って研究を続ける。1975 年国立がんセンター病院泌尿器科に勤務し、1987 年同病院手術部長、第一病棟部長、副院長を経て、1992 年 1 月に病院長、同年 7 月に中央病院長、2002 年 4 月総長に就任。2007 年 4 月国立がんセンターを退職し、同名誉総長、財団法人日本対がん協会会長に就任。専門は泌尿器科学だが、発がん全般、特に膀胱発がん、前立腺発がんについては今も強い関心をもっている。立場上、がんの診断、治療、予防に幅広く関わり、全がんに目配りしてきた。がん予防、がん検診、緩和医療に対する関心も強い。国立がんセンター田宮賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞を受賞、並びに瑞宝重光章などを受章、2019 年 12 月より日本学士院会員、2025 年 11 月文化功労者。

主な著書

- ・ 発がんからみた膀胱がんの臨床（メディカル・ビュー社）
- ・ がんと人間（共著 岩波新書）
- ・ 患者さんと家族のためのがんの最新医療（岩波書店）
- ・ 前立腺がんのできないために（読売新聞社）
- ・ 妻を看取る日（新潮社）
- ・ 悲しみの中にいるあなたへの処方箋（新潮社）
- ・ がんと人生（中央公論新社）
- ・ 巡礼日記 亡き妻と歩いた 600 キロ（中央公論新社）
- ・ 「カキゾエ黄門」漫遊記（朝日新聞出版）
- ・ 「Dr.カキゾエ歩く処方箋」（朝日新聞出版） - など

シンポジウム

「島根のがん対策 20 年の軌跡とこれから ～ 七位一体の取組 ～」

シンポジスト

- み な り よ う こ
○ 三 成 楊 子 氏

島根県がん対策推進協議会 患者家族支援部会部会長。長年、遺族の立場から、がんサロンの運営に関わるなど、患者・家族等の支援に取り組んでいる。

- な か し ま け ん じ
○ 中 島 謙 二 氏

島根県議会議員として、20 年にわたり、がん対策の充実に取り組んでいる。平成 26 年のがん対策推進条例改正の際には、提案者として中心的な役割を担った。

- た む ら け ん じ
○ 田 村 研 治 氏

島根大学医学部附属病院先端がん治療センター長・腫瘍内科教授。がん薬物療法やがんゲノム医療を専門とし、島根県がん対策推進協議会の会長として、県内のがん対策の推進に携わる。

- た ぶ ち な お こ
○ 田 淵 直 子 氏

がん教育外部講師・島根県がん検診啓発サポーター。小・中学校の元養護教諭。教育現場を中心に地域に向けても、がんの正しい知識やがん検診の重要性を伝え、実践が進むよう普及啓発活動に取り組んでいる。

- お か だ も と え
○ 岡 田 素 衣 氏

山陰中央新報社でコラムや論説に携わる。島根県がん対策推進協議会委員として、メディアの立場から、がんに関する正しい情報の発信や県民の理解促進に取り組む。

座長

- む ら し た は く
○ 村 下 伯 氏 （島根県健康福祉部 医療統括監）